

自然条件と人々の暮らし

めあて

- その土地にあった暮らし方の工夫を考えよう。
- その土地にあった観光の特ちょうを考えよう。

小野田先生が生まれた秋田県にはとても有名な神様がいます。
「なまはげ」です。（このなまはげがいたので小野田先生のことを「おにだ先生」と呼ぶ人が現れました。）

冬になると秋田の男鹿半島というところに現れます。
さて、どうしてなまはげは体にわらを身につけ、わらぐつをはき、うでにもわらを巻いているのでしょうか。考えてみよう。

どうしてだろう？（気候について考えてみよう）



←こんなのは変だよね。

みんなが住んでいる神奈川県と東北や北海道とはコンビニの作りがちがいます。



東北・北海道



神奈川県

どうして入り口の形がちがうのだろうか？（神奈川県と東北・北海道の冬をイメージしてみよう）

秋田県などの東北地方や北海道は冬になるとたくさんの雪が降ります。
道路もおおってしまうので、小学生のときはくつの裏にすべり止めの金属がついているものをはいていました。
転んで大けがをしないための工夫ですね。



雪が積もると道を作るための雪かきをしなければなりません。そのために朝6時に起きて作業をします。それでも学校に行くときにはまた積もっていることもありました。

雪が降るといのは大変なことが多いのですが、そのような気候条件を生かす取り組みが昔から行なわれています。



犬の雪像をかざった犬っこまつり



かまくらまつり



ラベンダー畑。ラベンダーはむし暑さに弱い花です。

みんなだったら寒い地域の特ちょうを生かしてどんなイベントを考えますか。アイデアを書いてみよう。